

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

フリガナ	●●●●	男(女)	要介護3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子					
本人氏名	●●●●様	91歳			<input type="checkbox"/> その他()					
報告者	●●●●	発生(発見)日時		平成26年05月20日(火) 22:00 分頃						
場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他(居室扉付近)									
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他()									
状況	本人が居室の戸の前まで素足で歩いて来られ、遅番の職員に「ちょっとちょっと、さっき転んだんだけど」と話した。遅番の職員から夜勤職員が連絡を受ける。転んだ様子を伺うと「何をしようとしたわけでもないけど、転んでしまったの。窓側に頭を向けて仰向けで転んでやっと起き上がったの」と話されており、はっきりとした原因は聞かれない。居室内の様子は、歩行器が洗面台の前に置かれており、ベッド下のゴミ箱の周辺には水がこぼれていたが踏んだような形跡はなし。ゴミ箱の中には、割れたカップ・割れていないカップとタオルが入っており、「コップは転ぶ前に割れたんだと思う」と話されている。本人もはっきりとした事は分からず覚えていない様子である。(施設内連絡) 23:00 ●●●●援助員から待機ナースの●●●●看護師へ電話にて転倒の件を報告する。 07:40 ●●●●援助員から援助課長へ口頭にて転倒の件を報告する。 08:00 ●●●●援助員から●●●●援助課長補佐(リスク委員)へ口頭にて転倒の件を報告する。 09:30 ●●●●援助員から施設長へ口頭にて転倒の件を報告する。 09:50 ●●●●援助員から施設長補佐へ口頭にて転倒の件を報告する。 10:00 ●●●●援助員から医務課長補佐へ口頭にて転倒の件を報告する。									
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input checked="" type="checkbox"/> その他(腰椎圧迫骨折)				部位	腰				
症状	夜間の時点では、ご自分で排泄される等動いていた。朝になるとご自分では起き上がれず、職員の介助が必要な状況あり。また、腰の痛みの訴えも強く聞かれ嘔気も聞かれていた。									
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input checked="" type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他() 0時頃、嘔気の訴えあるが背中を擦るなどの対応にて落ち着く。その後変わりなく過ごされる。 6時頃、腰痛の訴え有り、湿布交換する。 強い腰の痛みと本人から受診したいという強い希望があり、●●●●病院へ受診の運びとなる。 また受診時に嘔気・眩暈が見られ、受診科目を整形外科から内科に変更。 受診の結果、腰椎圧迫骨折と内科的精査必要との診断、入院となる。									
バイタルサイン	体温	36.1℃	血压	102 / 83 mmHg	脈拍	72 回/分	SP02	%	計測時間	22:20
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input checked="" type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他() 本人に、転倒した原因を確認するも、どうして歩いたのか・どのように転んだのか等、記憶が曖昧な様子ではっきりとした原因は分からないが、居室内を歩行器使用せずに歩行していたことが原因と思われる。 平成23年9月3日に転倒した件もあり、職員は歩行器使用の声掛けを継続していた。また、夜間帯はポータブルトイレを使用するため、夜勤者は決められた位置へポータブルトイレの設置を行い、歩行の際はスムーズに歩行器が使用できるよう、設置していたが日常生活動作は自立している為、居室内での移動時の見守りの支援は難しい状況がある。									
事故防止対策	【グループでの対応】・夜勤者はポータブルトイレを設置し、歩行器は所定場所に設置することは今まで通り継続する。定時巡回時、歩行器の位置が所定の場所にあるか確認、位置が変わっていた場合は所定位置に戻す。 【リスクマネジメント委員会】 ・居室内の環境整備を行なう。良く使う冷蔵庫はご本人の動線上に設置するが、家具の移動はご本人が混乱しないよう最小限とする。 ・室内ではスリッパを使用し足の運びの状態が悪い為ご本人と相談しリハビリシューズの購入を勧めてみる。 ・常に歩行器使用の声掛けを徹底する。									
	加ファリスの必要性について		<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要							
家族への説明	平成26年05月20日(火)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員		1回目●●●● 2回目●●●●	
	家族氏名		●●●●氏		続柄		義弟			
	10:00 電話にて事故の件を説明し謝罪する。ご家族様より「こちらこそ申し訳ありません。これから向かいますので」との返答を頂く。 10:40頃 ●●●●様が面会に来られ、再度転倒の件説明し謝罪する。ご家族より「歳も歳だから。色々迷惑かけてすみません」と返答頂く。									